

令和6年2月14日  
山梨県観光文化・スポーツ部  
文化振興・文化財課  
課長 杉田 浩枝  
電話 055-223-1790(内線 8500)

報道関係者各位

## 県立美術館×メタバースギャラリー 融合展示開催 雨宮庸介「まだ溶けていないほうの山梨県美」展 ふるさと納税出品による文化芸術振興・芸術家育成支援も

山梨県（知事：長崎幸太郎）では、県立美術館の可能性を模索する企画シリーズ「LABONCHI（ラボンチ）」の第2弾として、山梨県市川三郷町在住の現代美術作家・雨宮庸介氏による新制作作品展示『まだ溶けていないほうの山梨県美』を開催します。

雨宮氏は、代表作として知られる「溶けた林檎の彫刻」のように、普段現実では起こりえない現象や状況を生み出し、鑑賞者の認識に変化を起こすことをテーマに、制作活動を行う作家です。本展示では、VRヘッドセットを使用し、現実空間と仮想空間（メタバース）を往来する体験をつくり出すことで、現実の面白さを鑑賞者に投げかける作品となっています。

また本県では、令和5年度より新たな価値を創造するため、文化芸術振興事業スキーム（図1）を実践しています。このスキームは、県の事業に携わった芸術家が手掛けるコンテンツをふるさと納税の返礼品とし、その寄附を文化芸術振興及び幅広い分野の芸術家への支援・育成へと活用するものです。今般、本趣旨に賛同いただいた雨宮氏協力のもと、雨宮氏が手掛けるコンテンツを本県ふるさと納税返礼品とし出品することを予定しています。（2024年秋を予定）

なお、本展初日となる2月27日には、雨宮氏参加のもと、美術館内でプレストアを開催いたします。参加を希望される場合は、別紙申し込み書により2月25日（日）までにお申し込みください。



雨宮庸介（あめみや ようすけ）

現代美術作家。1975年茨城県生まれ。山梨県市川三郷町在住。

多摩美術大学美術学部油画専攻卒業。

2011年に渡欧、2013年 Sandberg Institute（アムステルダム、オランダ）修了。

2014年度文化庁新進芸術家海外研修員（アムステルダム、オランダ）。

独自の話法を用いたパフォーマンス、普遍性に超絶技巧を掛け合わせた具象彫刻、1300年かかるプロジェクトなど、さまざまな手法を用いた作品は、鑑賞者をいつのまにか違う位相へと連れ出し、物事の境界線への再考を促す。

## ■展示情報

LABONCHIO2. 雨宮庸介『まだ溶けていないほうの山梨県美』

会 期：令和6年2月27日(火)～令和6年3月24日(日)

休 館 日：令和6年3月4日(月)～11日(月)、18日(月)

開催場所：山梨県立美術館（山梨県甲府市貢川一丁目4-27）、オンライン

展示内容：ギャラリー・エコー（館エントランス）にて、彫刻作品等によるインスタレーションを展開。また、メタバース空間内では、事前に県立美術館で撮影した映像作品を展開。本館1フロビーに設置されたVRゴーグルで鑑賞することで、現実と仮想の空間が相互に侵犯し合う、非日常的な鑑賞体験を提供。

## ○オンライン展示鑑賞方法

**美術館での展示体験を重要視する作品の趣旨に鑑み、オンラインでの公開は、3月17日(日)正午からとなります。**

- ・オンライン展示は、(株)Psychic VR Lab が運営するプラットフォーム「STYLY」で公開いたします。スマートフォン、タブレット、PC、VR機器といった様々な端末で鑑賞が可能です。
- ・オンライン展示へのアクセスについては、公開日以降、県立美術館ホームページでご案内いたします。(3月4日正午一般公開予定)  
県立美術館URL：<https://www.artmuseum.pref.yamanashi.jp/>
- ・対応デバイス、鑑賞方法、推奨環境等、詳細は公式ホームページでご確認ください。  
URL：<https://styly.cc/ja/manual/experience-styly-in-vr/>

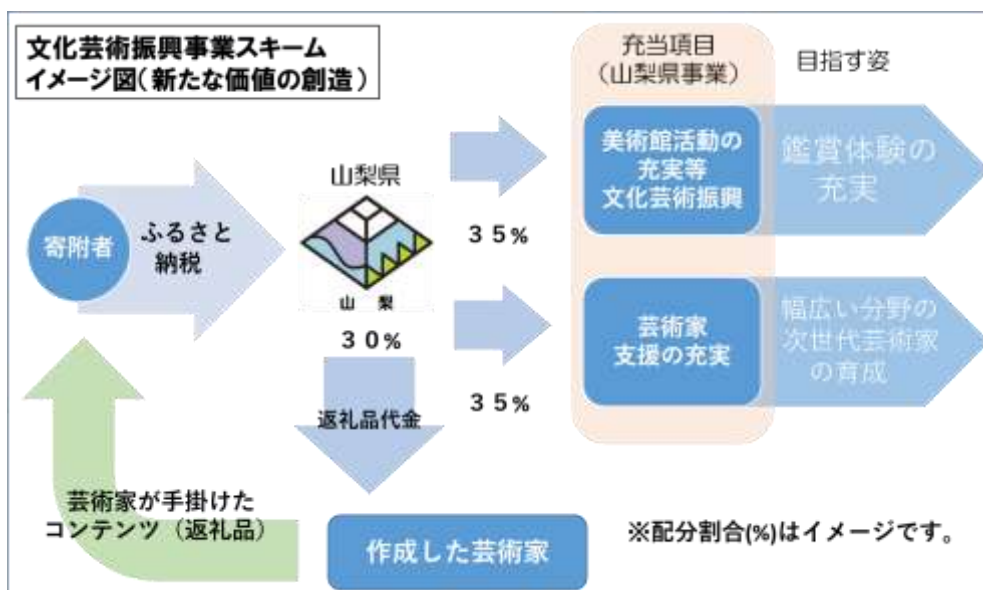
## ■プレスツアーについて

1 日 時 令和6年2月27日(火) 10時00分から(受付開始：9時30分)

2 場 所 山梨県立美術館

3 出席者 現代美術作家 雨宮庸介氏

図1



○本リリースに関する報道関係者からの問い合わせ先

山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課、山梨県立美術館（作家、作品展に関すること）

電話 055-223-1790（文化振興・文化財課）、055-228-3258（美術館）

LABONCHI.02

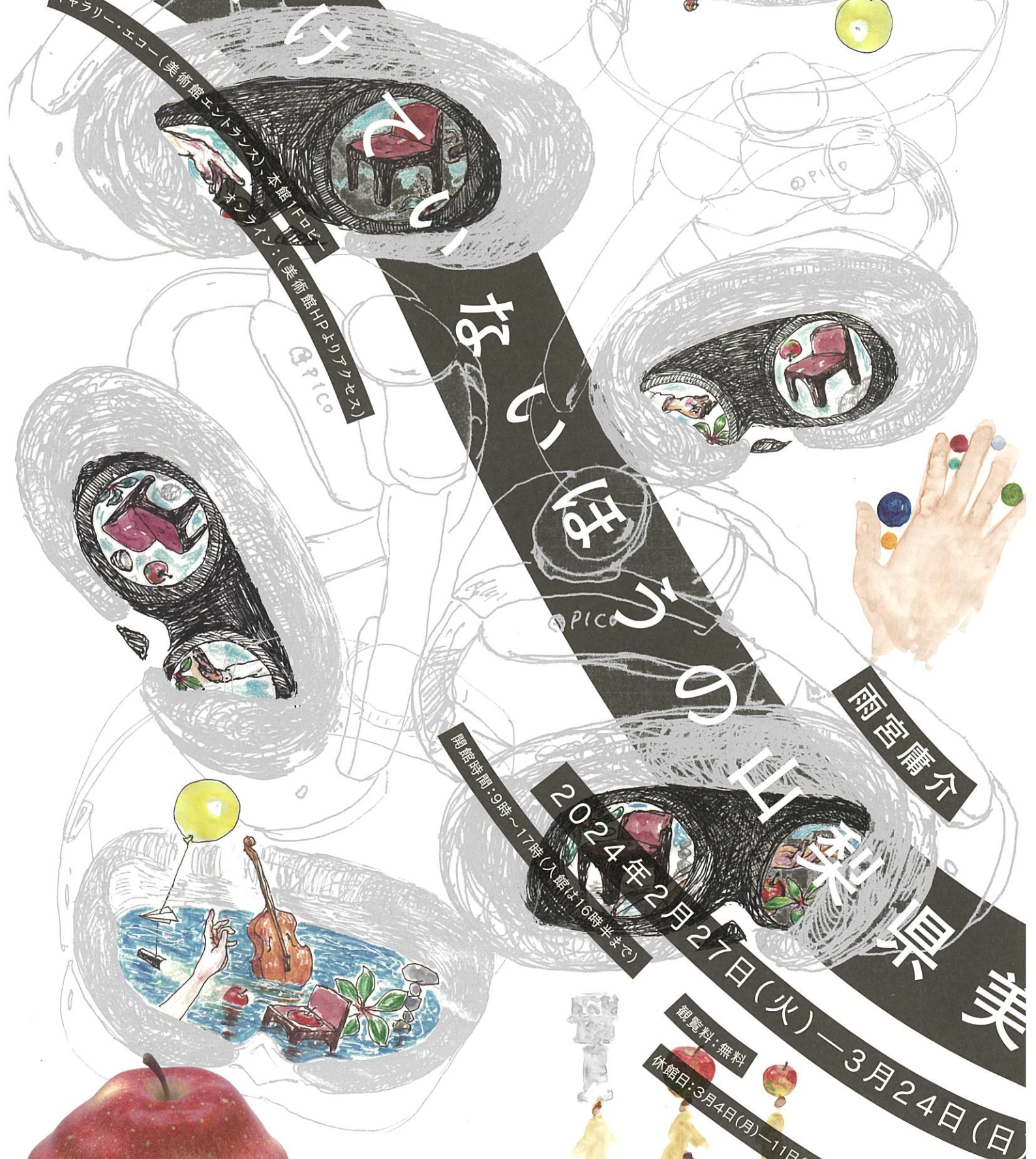
種をまく 世界がひらく  
山梨県立美術館  
Yamanashi Prefectural Museum of Art



まだ

主催・会場：山梨県立美術館

ギャラリー・エコー（美術館エントランス）本館1Fロビー  
オンライン：（美術館HPよりアクセス）



な

ほ

じ

の山梨県

雨宮庸介

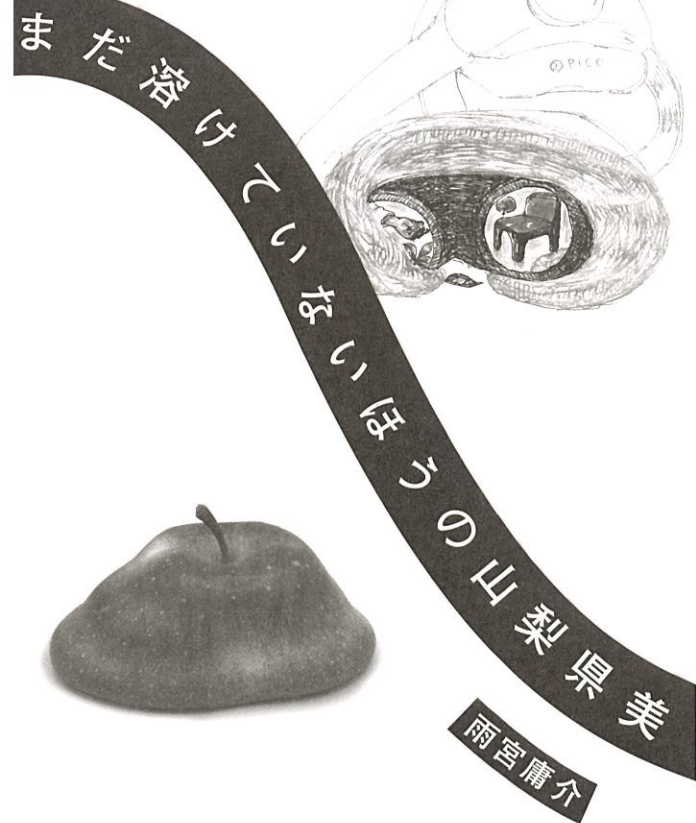
美

開館時間：9時～17時（入館は16時半まで）  
2024年2月27日（火）

観覧料：無料  
休館日：3月4日（月）～11日（月）、18日（月）



LABONCHI.02



本展『まだ溶けていないほうの山梨県美』は、美術館内そしてメタバースと呼ばれる仮想空間を舞台とした展示企画シリーズ『LABONCHI』の第2弾となります。

今回は「溶けた林檎の彫刻」「1300年持ち歩かれた、なんでもない石」等の代表作品で知られる山梨県市川三郷町在住の美術家・雨宮庸介を招聘し、現実空間と仮想空間を往来する新作をご紹介します。

雨宮は、大学の油彩画専攻を卒業後、彫刻作品や映像、パフォーマンスなど様々なメディアを用いて精力的に制作しています。2011年に渡欧し、2013年にはSandberg Institute (アムステルダム、オランダ)を修了。近年までドイツ・ベルリンで活動していました。代表作として知られる溶けた林檎の彫刻のように、普段現実では起こりえない現象や状況を生み出し、それによって鑑賞者の認識に変化を起こすことが、雨宮の作品の核となっています。そしてこれまでの作品のテーマとしてV(仮想)とR(現実)を取り扱う事が重要であり、探求する事柄であったと雨宮は語ります。

本展で雨宮は、「まだ溶けていない」というタイトルとすることで、溶けることのない美術館が、林檎のように溶けることを想像させてくれます。このようにして、想像の力で現実世界と仮想現実を緩やかにし、現実の面白さを投げかけます。

VR(仮想現実)ヘッドセットと呼ばれる視野を拡張するマシンを使用した今回のデジタル映像作品によって、これまでの雨宮のV(仮想)とR(現実)についてのテーマがどのように拡張されるのかどうぞご期待ください。

#### 雨宮庸介/Yousuke AMEMIYA

1975年茨城県生まれ。多摩美術大学美術学部油画専攻卒業。山梨県在住。第15回グラフィックアート「ひとつ展」グランプリ。現公益財団法人江副記念リクルート財団の奨学生として2011年に渡欧し、2013年 Sandberg Institute (アムステルダム、オランダ)修了。2014年度文化庁新進芸術家海外研修員(アムステルダム、オランダ)。以降、ベルリンに拠点を構え、2022年に帰国。現在、日本を拠点に活動。

主な個展に『H&T.A.S&H.B&W.(Heel&Toe.Apple,Stone&Human.Black&White.)』SNOW Contemporary、東京(2021)、『雨宮宮雨と以』BUG、東京(2023)。

主なグループ展に『Reborn-Art Festival 2021-22』日和山公園旧レストランかしま、石巻(2021)、『りんご宇宙—Apple Cycle/Cosmic Seed』弘前れんが倉庫美術館、青森(2021)、『土とともに美術にみる〈農〉の世界—ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで—』茨城県立近代美術館(2023)など。

企画協力: COMPOUND inc.

展覧会ディレクション+VIデザイン: 小田雄太 (COMPOUND inc.)

VR撮影編集: 飯田将茂 ドラマトゥルク: 石神夏希

振付・出演: 浅井信好 出演: 皆川まゆむ 他

振付アドバイザー: 木田真理子

コントラバス: 千葉広樹

会場デザイン: GROUP

編集: 吉田山 プレインストーミング: 鹿野震一郎

協力: SNOW Contemporary

## 座談会 [なにが溶けていてなにが溶けていなかったのか?]

彫刻作品や自身の体を使ったパフォーマンスや映像作品等、様々な方法でアート作品制作に取り組む雨宮による本展での経験を元にメタバースの可能性や発見についてのトークセッションを行います。

日時: 3月23日(土)、24日(日) 14時~15時30分頃  
登壇者: 雨宮庸介(アーティスト)、ゲスト調整中

※ 詳細はホームページでお知らせします。

定員: 100名程度を予定(先着順)

場所: 講堂

申込不要、聴講無料。

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART LABORATORY

# LABONCHI

山梨県立美術館を舞台にアートの可能性を模索する展示企画シリーズ『LABONCHI』の第2弾です。LABONCHIとは今までにない新しい事柄を共に作り上げる実験チームでもあります。名前は造語であり、雄大な山々に囲まれたこの甲府盆地(ボンチ)にある実験室(ラボ)というイメージでこの2つの言葉を組み合わせました。アーティストやクリエイターの経験や直感によって仮説を立て、この美術館を実験室として実践し生まれる視点や驚きを広く共有することをミッションとしています。

### ACCESS



#### 【アクセス】

- JR中央線甲府駅より
- 甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勤使(みだい)
- 竜王駅経由で敷島営業所・大草経由で市川(くがわ)
- 団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
- タクシーで約15分。

#### 中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

- 料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交差点を左折、国道52号を約1km、左側。



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324